

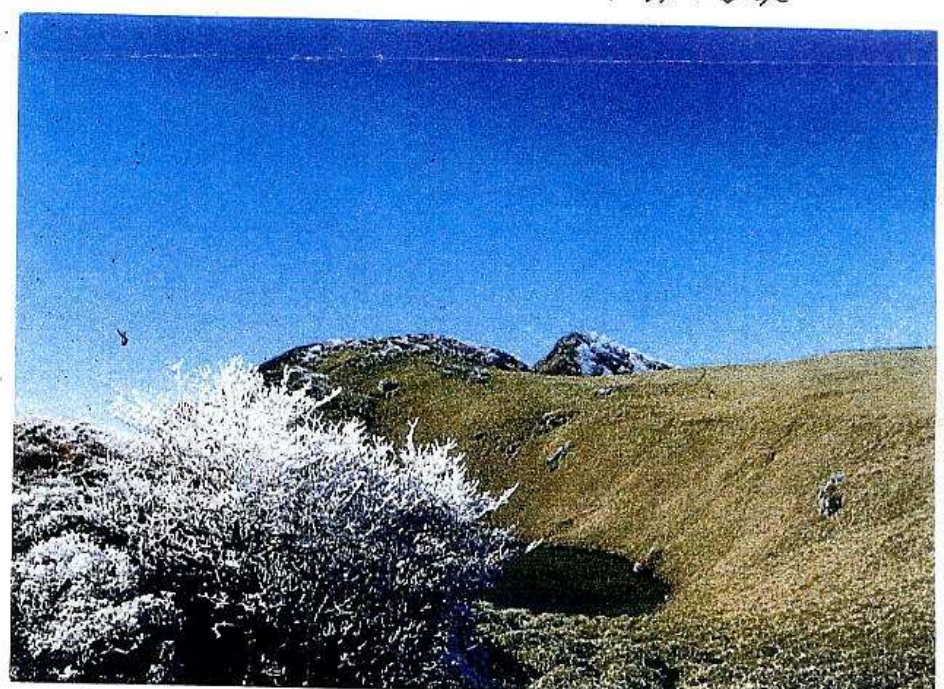
あ り ま せ ん !!

安全山道には

三嶺の紅葉



今年の紅葉は今一きれいではありませんが、それどころか赤や黄色に山々を染め上げています。10月中旬頃より、剣山、三嶺の頂上からスタートし、ようやく県道・国道沿いの木々が色づいていきます。春の芽吹き頃から、山歩きが好きな人にとつては、家づくりとしておられないこの時です。その山歩きも、最近「中高年の登山レブームとか山ガールレブーム」と言われ、気楽に登る人も少なくないようです。山が荒れはじめているのは、決して鹿だけのせいにしては、余りにも人間の身勝手というものが、気楽に山登りをくわて、ゴミと遭難のめざを地元に押しつけてくれているのでは、たまりません。



一部の人たちの為に、山の道に「テール」や看板が多くなることで、弊害を自然に失われつつあるということがあります。暗くなるまで救助に行かないと文句を言ったり、ケガをしないのにヘリに乗るのか、救助に来るのが遅いと怒る人といったことがありますが、いざの場合、登山は自己責任」という基本の考えを忘れない様です。万一の時の食料、寒さ対策、カッパ等の固対策もくわて、責任者は事前に地図と地図の下見等はするべきです。好きで山歩きをして、地元に住んでいる人に負担をかけること平気でいれる様な人は、困りものでもあります。安全は、自分で作るのが基本です。

せいにくは、余りにも人間の身勝手というものが、気楽に山登りをくわて、ゴミと遭難のめざを地元に押しつけてくれているのでは、たまりません。徳島県内でも、何れも死亡事故がありました。山道に安全な道などありません。ニキートル以下の山であることも、気候の変化によつたら、大変危険な事もあるかもしれません。今年になつて、祖谷の山でも数件の「遭難」のめざがあり、地元消防団をはじめ関係者は大変な苦慮です。祖谷には、専門の山の遭難救助隊はありませんので、その都度、仕事を休んで、対応しなければいけない状況です。ましてや、山好きで、休みの時は祖谷の山を歩いて、いる消防団の人が多いので、事はあります。それだけでも救助にあたらなければなりません。行政にしても、同じです。また再び同じ様な事故に陥らない様、看板を設置したり、テープをつけたり

